

1 課 あらかじめ味わったルデヤ（使徒16:15）

フォーラムしよう

「聖霊の導きの中での出会い」

序論の3つの祝福を味わっていると、ただキリストの中で生かして、生かされる出会いが与えられます。

パウロは、序論の3つ（プラットフォーム、物見の塔、アンテナ）を24時、いつも祈っていました。

そして、アジアに行くことを聖霊によって禁じられ、聖霊によってマケドニアに導かれました。

マケドニアの地方で第一の町ピリピに行きました。

そこでルデヤに出会いました。



パウロは熱心に伝道したのではありません。

ただ、祈りの中で聖霊の導きによって、ここでなにをするのかと祈りつつ、

祈り場があると思われたところに行って、ルデヤに出会いました。

完全に神様の導き、聖霊の中での導きでした。

テアテラ市の紫布の商人で、神を敬う、ルデヤという女が聞いていたが、主は彼女の心を開いて、パウロの語る事に心を留めるようにされた。（16:14）

神様が備えられた神を敬うルデヤという人の心を神様が開かれました。

パウロもルデヤも、神様の導きの中での出会いでした。すべて神様がなさったのです。

聖書に出て来る人物を見るときは、その人物に焦点をあてるのではなく、神様が福音の流れの中で人々をどのように導かれたのか、福音の流れの中にいる人々を神様がどのように遣わされたのか、神様がなさったことに焦点をあてましょう。

ルデヤがすばらしかったのではありません。

神様がなさったのです。

聖霊の導きによって、神様が選ばれた人パウロが、アジアではなくマケドニアのピリピに導かれてすでに備えてあった人との出会いを神様が与えてくださいました。



わたし
私 たちにもいろいろな出^で会^あいがあります。

かぞく おや きょうだいしまい
家族、親、兄 弟 姉 妹も、聖^{せい}霊^{れい}の 導^{みちび}きよって神^{かみ}様^{さま}がなさったことです。

きょうかい かよ
教 会に通うようになったのも、牧^{ぼく}師^し先生^{せんせい}との出^で会^あい、いろいろな人^{ひと}との出^で会^あいは

せいれい みちび
聖^{せい}霊^{れい}の 導^{みちび}きの中^{なか}の出^で会^あいであることをおぼえて、フォーラムしましょう。